

ケーブル技術スタッフの機器チェック!

日々開発されるケーブルテレビ関連機器を、技術スタッフが
厳しい目でチェック! 実用性に焦点を当てて報告します。No.
134

インターネットトラフィックの傾向—2020年—

豊島ケーブルネットワーク(株) 技術部 部長 上山裕史

今号は最新(2020年)のトラフィック情報を紹介します。

私たちケーブルテレビ局の技術者は、ISP(インターネット・サービス・プロバイダ)として顧客のセキュリティ確保、自ネットワークからの不正パケットの送出防止、円滑な通信の確保をするために不断的努力をしています。今回は2020年最新のトラフィック情報を紹介します。

2020年5月、新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言が発出され全国に緊張が走りました。自宅で過ごす方々が増え、トラフィックの増加に目を光らせた技術者の皆さんも多かったことと思います。

テレワーク(在宅勤務)、遠隔授業、テレビ会議、ゲームや動画の娯楽などにイン

ターネットが大いに使用されたことと思います。当社トラフィックを傾向管理しているMRTG(マルチ・ルーター・トラフィック・グラフ)で見ると図1のようになります。Y軸はトラフィック量です。X軸は時間軸で左側が最新となります。2020年1月を基準として5月は2倍のトラフィック量になりました。昼間のトラフィックが増大し16時頃のピーク

と23時頃のピークが観察されます。

設備管理の面から短期間で増加したトラフィックにより、CMTS(ケーブルモデム・センター装置)やFTTH装置でトラフィックの詰まりが生じないように監視し、必要であれば設備増強をしなければなりません。DNS(ネームサーバ)のレスポンスも重要です。本稿の執筆時点で緊急事態宣言が解除される動きがあり、若干のトラフィック減が観測されています。

ケーブルテレビ局の技術者は、今後のトラフィック動向に注意を払い、新しい生活様式にあわせたインターネットサービスの知識が必要になっていくと考えます。

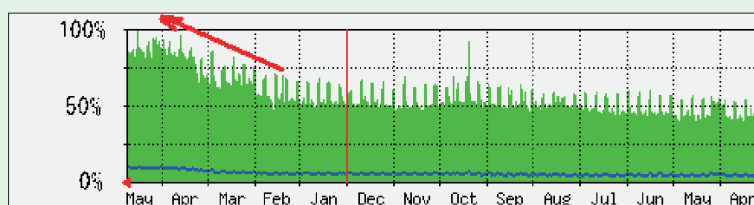


図1:トラフィック